(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-236920
(P2004-236920A)
(43)公開日　平成16年8月26日(2004.8.26)

(51)Int.Cl.[7]	F I	テーマコード（参考）
A47B 96/02	A47B 96/02 L	

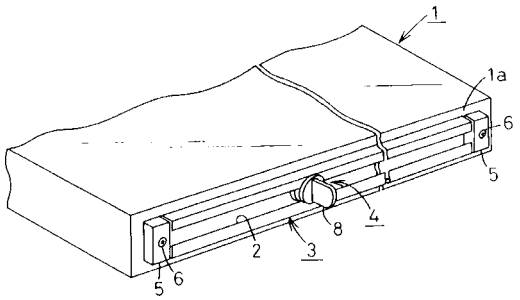
審査請求 未請求　請求項の数 12　ＯＬ　（全 8 頁）

(21)出願番号　特願2003-30460(P2003-30460)
(22)出願日　平成15年2月7日(2003.2.7)

(71)出願人　000000561
株式会社岡村製作所
神奈川県横浜市西区北幸２丁目７番１８号
(74)代理人　100060759
弁理士　竹沢　荘一
(74)代理人　100087893
弁理士　中馬　典嗣
(72)発明者　紫葉　澄雄
神奈川県横浜市西区北幸二丁目７番１８号
株式会社岡村製作所内
(72)発明者　小林　喜彦
神奈川県横浜市西区北幸二丁目７番１８号
株式会社岡村製作所内

(54)【発明の名称】棚装置

(57)【要約】
【課題】書籍、カタログ等の収容物品、特にパンフレットのような薄い収容物品の取出し位置を機械的に記憶させ、この位置へ収容物品を戻せることを確実とする棚装置を提供する。
【解決手段】左右方向に延びる開口部２を前面に形成して保持溝２ａを設けた長方形断面の横長レール杆３を、棚板１の前面１ａに取り付け、目印部となる移動可能な目印体４の基部７を、保持溝２ａ内に挿置する。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
棚板の前面に、該棚板上に載置される物品の位置を示す目印体を、左右方向に移動可能として設けたことを特徴とする棚装置。
【請求項２】
棚板の前面に、後部の高さが、前面開口部の高さよりも大きい保持溝を、左右方向に形成し、かつ目印体の後部におけるランナを、前記保持溝内に、前方へ抜け外れないようにして嵌入してなる、請求項１記載の棚装置。
【請求項３】
断面前向角形Ｃ状のレール杆を、棚板の前面に取り付けた、請求項２記載の棚装置。
【請求項４】
レール杆の左右端に、目印体の抜け落ち防止部材を設けた、請求項３記載の棚装置。
【請求項５】
目印体のランナを、若干の摩擦抵抗をもって摺動可能な滑子とした請求項２～４のいずれかに記載の棚装置。
【請求項６】
目印体のランナを、若干の摩擦抵抗をもって転がり移動可能なローラとした、請求項２～４のいずれかに記載の棚装置。
【請求項７】
目印体の前部に、標識兼移動用のつまみを設けた、請求項１～６のいずれかに記載の棚装置。
【請求項８】
標識兼移動用のつまみを、棚板の下面から下方へ突出する長さのものとした、請求項７記載の棚装置。
【請求項９】
棚板を鋼板製のものとし、該棚板の前面に、左右方向の長孔を穿設し、該長孔の背面に、高さが該長孔の高さよりも高い前向コ字状断面の横長の保持杆を固着することにより、保持溝を形成した、請求項２～８のいずれかに記載の棚装置。
【請求項１０】
目印体を、弾性湾曲するほぼ後向Ｖ字形の本体と、この本体の各腕杆の後端に形成された１対の反対方向を向く係止片とからなるものとし、前記腕杆の弾性力により、前記係止片を保持溝に係止させるようにした、請求項２または３、または９に記載の棚装置。
【請求項１１】
棚板の前面に、左右方向に多数の挿入孔を列設し、後部に前記挿入孔に挿入しうる突起を設けた目印体を、前記挿入孔に着脱自在に取り付けるようにした、請求項１記載の棚装置。
【請求項１２】
目印体を複数設けた、請求項１～１１のいずれかに記載の棚装置。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、棚装置、特に、書架等における棚板上の物品位置表示装置に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来、病院等において使用され、多量のカルテを分類収容し、確実に効率よく取出しまたは返却するようにするカルテファイル管理棚がある（例えば、特許文献１及び２参照）。
【０００３】
【特許文献１】
特開平８－２６２６号公報（第３～５頁、図１～５）
【特許文献２】

特開２０００ー３０９４１０号公報（第３～５頁、図１～３）
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
しかし、このような従来公知のものは、多量のカルテを保管しておく必要性から、装置が大がかりなものとなっている。
しかし、一般のオフィス等においては、そのような大がかりな装置は必要とせず、通常、書籍またはカタログ等を、を決められた位置から取り出し、この決められた位置に戻すことができれば十分である。書籍やパンフレットが厚い場合には、その返還はさほど問題がないが、パンフレットのように薄いものの場合には、その決められた場所を見出して返還するには、少からぬ手間を要する。
【０００５】
本発明は、上述の問題点に鑑み、書籍、カタログ等の収容物品、特にパンフレットのような薄い物品の取出し位置を機械的に記憶させ、この位置へ、物品を確実に戻しうるようにした棚装置を提供することを目的としている。
【０００６】
【課題を解決するための手段】
本発明によると、上記課題は、次のようにして解決される。
（１）棚板の前面に、該棚板上に載置される物品の位置を示す目印体を、左右方向に移動可能として設ける。
【０００７】
（２）上記（１）項において、棚板の前面に、後部の高さが、前面開口部の高さよりも大きい保持溝を、左右方向に形成し、かつ目印体の後部におけるランナを、前記保持溝内に、前方へ抜け外れないようにして嵌入する。
【０００８】
（３）上記（２）項において、断面前向角形Ｃ状のレール杆を、棚板の前面に取り付ける。
【０００９】
（４）　上記（３）項において、レール杆の左右端に、目印体の抜け落ち防止部材を設ける。
【００１０】
（５）上記（２）～（４）項のいずれかにおいて、目印体のランナを、若干の摩擦抵抗をもって摺動可能な滑子とする。
【００１１】
（６）上記（２）～（４）項のいずれかにおいて、目印体のランナを、若干の摩擦抵抗をもって転がり移動可能なローラとする。
【００１２】
（７）上記（１）～（６）項のいずれかにおいて、目印体の前部に、標識兼移動用のつまみを設ける。
【００１３】
（８）上記（７）項において、標識兼移動用のつまみを、棚板の下面から下方へ突出する長さのものとする。
【００１４】
（９）上記（２）～（８）項のいずれかにおいて、棚板を鋼板製のものとし、該棚板の前面に、左右方向の長孔を穿設し、該長孔の背面に、高さが該長孔の高さよりも高い前向コ字状断面の横長の保持杆を固着することにより、保持溝を形成する。
【００１５】
（１０）上記（２）または（３）または（９）項において、目印体を、弾性湾曲するほぼ後向Ｖ字形の本体と、この本体の各腕杆の後端に形成された１対の反対方向を向く係止片とからなるものとし、前記腕杆の弾性力により、前記係止片を保持溝に係止させるようにする。

【００１６】
（１１）上記（１）項において、棚板の前面に、左右方向に多数の挿入孔を列設し、後部に前記挿入孔に挿入しうる突起を設けた目印体を、前記挿入孔に着脱自在に取り付けるようにする。
【００１７】
（１２）上記（１）～（１１）項のいずれかにおいて、目印体を複数設ける。
【００１８】
【発明の実施の形態】
図１１は、本発明棚装置を適用する一例として、前後両側から、書籍、カタログ等の物品を載置できる鋼製の組立式書架（Ａ）を示す。この書架（Ａ）の前部および後部には、複数段の鋼板製の棚板（１）が取り付けられている。この棚板（１）の前面（１ａ）に、本発明棚装置が適用される。
【００１９】
図１及び図２は、本発明棚装置の第１の実施形態を示し、図１は、その部分前方斜視図、図２は、その縦断側面図である。
【００２０】
これらの図に示すように、棚板（１）の前面（１ａ）には、例えば樹脂材からなり、前面に左右方向に延びる開口部（２）を有する前向角形Ｃ状のレール杆（３）を、図示してない止めねじのような取付手段により取り付けてある。
【００２１】
開口部（２）の高さは、レール杆（３）の高さよりも大分に低く、その結果、開口部（２）の奥部、すなわちレール杆（３）の内側の上下方向の高さは、開口部（２）の上下方向の高さよりも大分小さく、結果として、開口部（２）の背後には、後述する目印体（４）を保持しうる保持溝（２ａ）を形成されている。
【００２２】
レール杆（３）の左右両端には、これらと隣接して抜け落ち防止部材（５）が、開口部（２）の側面を塞ぐようにして、止めねじ（６）により、棚板（１）の前面（１ａ）に取り付けられている。
【００２３】
レール杆（３）の開口部（２）内には、取り出した書籍等の物品の位置を指示させる目印部となる目印体（４）が、移動可能に嵌入されている。
【００２４】
この目印体（４）は、開口部（２）を通る軸部（４ａ）の後部には、保持溝（２ａ）内を移動できる、軸部（４ａ）と一体の円形のランナ（７）が設けられ、また、軸部（４ａ）の前部には、前方に突き出る標識兼移動用のつまみ（８）が、一体に設けられている。
【００２５】
このような構成であるので、棚板（１）上に載置された書籍、カタログ等の物品を取り出した後、目印体（４）を、つまみ（８）を摘んで左右方向に移動させて取出し位置におくことにより、この物品を返却する際、目印体（４）の位置により、元の位置を一目で知り、直ちに、ここに収容物品を戻すことができる。なお、不使用時には、左右いずれかの端に寄せておけばよい。
【００２６】
図３及び図４に示す第２の実施形態では、レール杆（３）及び抜け落ち防止部材（５）については第１の実施形態と変わりないが、目印体（４）が異なっている。
【００２７】
この実施形態の目印体（４）は、開口部（２）を通る軸部（４ａ）の後部に、保持溝（２ａ）内を若干の摩擦抵抗をもって転がり移動可能なランナ（９）が枢支されており、また、軸部（４ａ）の前部には、棚板（１）の下面から下方に突出する、前面（４ａ）に平行な面を有するつまみ（１０）が一体に設けられている。
【００２８】

図５ないし図７に示す第３の実施形態では、鋼板製の棚板（１）の前面（１ａ）に、左右方向に長く延びる長孔（１１）を穿設してある。この長孔（１１）の背面には、高さが長孔（１１）の高さよりも高い前向コ字状断面の横長の保持杆（１２）を、コ字の開口部を前にして、リベット（１３）またはその他の固着手段により固着して、保持溝（２ａ）を形成してある。

【００２９】

この保持溝（２ａ）内に挿入される移動可能な目印体（４）は、折り曲げられた鋼線材のような材料からなり、弾性湾曲するほぼＶ字形の本体（１４）と、Ｖ字形の各腕の先端に反対方向に形成された１対の係止片（１５）とからなり、本体（１４）の弾性変形の戻りの力により、係止片（１５）を保持溝（２ａ）に係止させるものである。

【００３０】

図８及び図９に示す第４の実施形態では、鋼板製の棚板（１）の前面（１ａ）に、左右方向に多数の挿入孔（１６）が１列に等間隔で穿設されている。この挿入孔（１６）に、樹脂材の一体成型品である目印体（４）の後部の突起（１７）を挿入係止する。目印体（４）の前部には、乳頭状のつまみ（８ａ）が突出している。

【００３１】

使用に当たっては、収容物の取り出し位置にあたる挿入孔（１６）に、目印体（４）を挿置しておくだけでよい。収容物を戻した後は、もちろん取り外しておく。

【００３２】

図１０に示す第５の実施形態は、上述の第４の実施形態と同様なものであるが、挿入孔（１６）が前面（１ａ）に上下２段に穿設されており、この２段の挿入孔（１６）に挿入されるように、目印体（４）の後部には、上下２個の突起（１７）を有するとともに、長方体形のつまみ（８ｂ）が前部に形成されている。

【００３３】

上述の各実施形態の説明では、目印体（４）を１個として述べたが、その数は任意に設定できるのはもちろんのことである。

【００３４】

【発明の効果】

請求項１記載の発明によれば、書架から書籍、カタログ等の物品を取り出した際、その取出し位置を、機械的な手段により目印しておき、この物品を返却する際、これを簡単確実に元の位置に戻すことができる。

【００３５】

請求項２記載の発明によれば、保持溝により、目印体を確実に保持することができる。

【００３６】

請求項３記載の発明によれば、目印体の保持部を棚板とを別部品として用意して取り付けることにより、汎用の書架に棚装置を設けることができる。

【００３７】

請求項４記載の発明によれば、目印部材の抜け落ちを確実に防止することができる。

【００３８】

請求項５および６記載の発明によれば、目印体の移動が容易でありながら、所定位置での停止保持を、摩擦抵抗により確実なものとすることができる。

【００３９】

請求項７記載の発明によれば、目印体の移動を楽にすると同時に、目印機能を充分なものとすることができる。

【００４０】

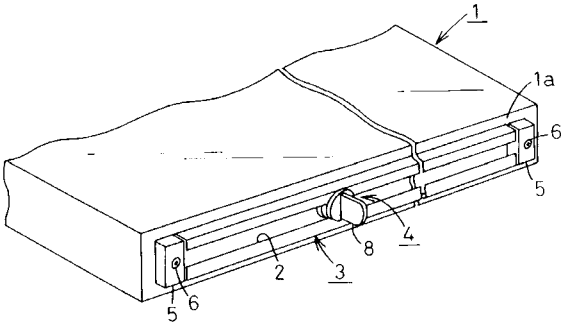
請求項８記載の発明によれば、目印体を、見やすくかつ移動操作しやすいものとすることができる。

【００４１】

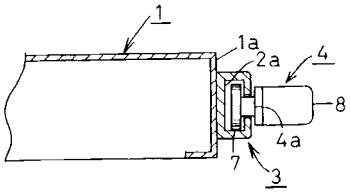
請求項９記載の発明によれば、棚装置の一部として棚板自体も用いるので、材料的な節減を図ることができる。

【００４２】
請求項１０記載の発明によれば、使用に当たって、簡単に外部から挿入できる目印体とすることができる。
【００４３】
請求項１１記載の発明によれば、棚装置の一部として棚板自体を用いるので、材料的な節減を図ることができる。
【００４４】
請求項１２記載の発明によれば、複数の物品を、同じ棚板上から取り出す場合にも対応することができる。
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明棚装置の第１の実施形態の部分斜視図である。
【図２】同じく、部分拡大縦断面図である。
【図３】本発明棚装置の第２の実施形態の部分斜視図である。
【図４】同じく、部分拡大縦断面図である。
【図５】本発明棚装置の第３の実施形態の部分斜視図である。
【図６】同じく、部分拡大縦断面図である。
【図７】同じく、目印部材の拡大斜視図である。
【図８】本発明棚装置の第４の実施形態の部分斜視図である。
【図９】同じく、部分拡大縦断面図である。
【図１０】本発明棚装置の第５の実施形態の部分斜視図である。
【図１１】本発明棚装置を適用する書架の斜視図である。
【符号の説明】
（Ａ）書架
（１）棚板
（１ａ）前面
（２）開口部
（２ａ）保持溝
（３）レール杆
（４）目印体
（５）抜け落ち防止部材
（６）止めねじ
（７）ランナ
（８）（８ａ）（８ｂ）つまみ
（９）ランナ
（１０）つまみ
（１１）長孔
（１２）保持杆
（１３）リベット
（１４）本体
（１５）係止片
（１６）挿入孔
（１７）突起

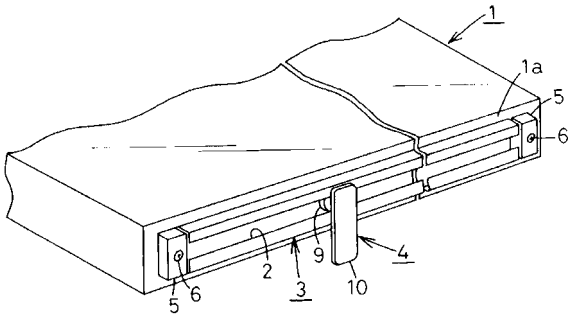
【図１】



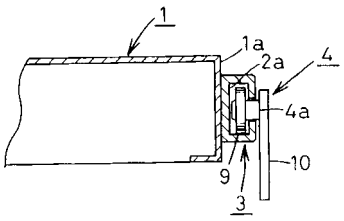
【図２】



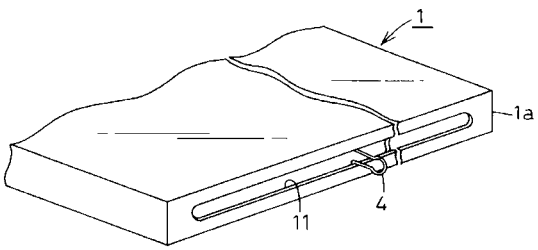
【図３】



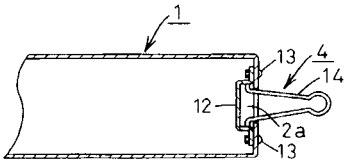
【図４】



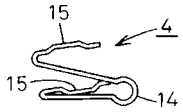
【図５】



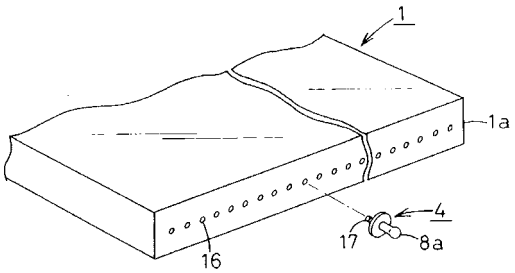
【図６】



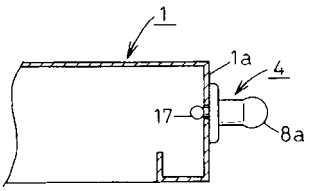
【図７】



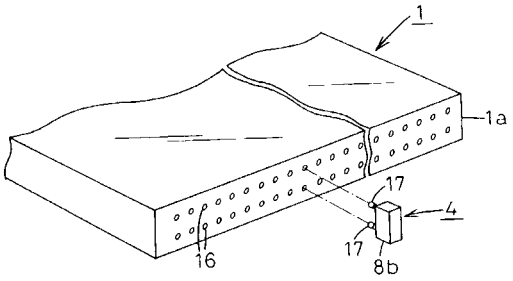
【図８】



【図９】



【図１０】



【図１１】

